

令和7年度 第3回尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会
議事録

日時：令和7年11月25日（火）15：00～

場所：Zoom開催

出席者

（委員）15名

梅谷委員、大風委員、奥西委員、佐野委員、高尾委員、中林委員、夏秋委員、
西川委員、藤井委員、藤岡委員、森嶋委員、山田委員、山本委員、横田委員、
吉田委員

（五十音順）

（事務局）8名（課長級以上）

福祉部長、福祉課長、高齢介護課長、包括支援担当課長、介護保険事業担当課長、北
部福祉相談支援課長、法人指導課長、健康増進課長、高齢介護課係長、包括支援担当
係長

1 開会

- ・事務局より、現時点で委員12名出席により会議成立、傍聴人1名の報告
- ・事務局より、資料の確認
- ・奥西会長より、委員変更の報告

2 審議事項

(1) 第10期計画策定に向けたアンケート調査について

- ・事務局より、資料1・1-1～1-7の説明

（質疑応答）

委 員：資料1-5の9ページ、問14に「2. 受け入れたいが、今は受け入れ
られない→問14-1へ」とあるが、問14-1の前段の文章では「2.
受け入れていたが、今は受け入れていない」と文言が変わっている。

事 務 局：問14-1の前段の文章を修正する。

委 員：①資料1-5の5ページ、問10の選択肢に「4. 利用者への対応（ハ
ラスメント等）」、「5. 家族への対応（ハラスメント等）」とある。こ
れは、介護者の離職原因が、利用者や家族からのカスタマーハラスメ
ントであったということだと思うが、この表現ではわかりにくいので
はないか。介護者が利用者へハラスメントをしたために、懲戒処分を
受けて辞めさせられたということに読み取れなくもない。②また、
「2. 職場の人間関係、雰囲気（上司・同僚との人間関係等）」とあ
り、職場内のパワハラ・セクハラは職場の人間関係に包含されるとい
う事務局の説明であったが、人間関係に包含してしまうのは、いかが

なものか。辞められた職員の受け止めにもよると思うが、セクハラ・パワハラを申し出て辞める原因になったという文言が必要ではないか。

委員：非常にデリケートな部分の文言のご指摘をいただいた。事務局いかがか。

事務局：①介護者がハラスメントをした側なのか、受けた側なのかが分かりにくいので、書きぶりについて検討する。②職場内でのハラスメントについて、事業所として回答しづらい部分もあると思うが、逆にそこをはっきりさせた方がよいなど、色々なご意見があると思う。前回の分科会後に委員の皆様の見解を改めてお聞きした結果、今のところは本日ご提案している選択肢にさせていただきたいと考えている。また、このアンケート調査に併せて、事務局が日々の事業所とのやり取りの中で聞き取りも行いながら、現場の状況を把握したいと考えているが、この点について、委員の皆さまのご意見を伺いたい。

委員：事務局意見について承った。統計上、職場の人間関係が離職理由となっている割合が多いためこの設問があるが、委員がおっしゃるように、「人間関係」という、ある意味曖昧模糊とした、あるいは、辞めた人の主観的な見方に色付けられている理由では、事業所レベルでは想像の域にしかならず、データとしての不安定さをおっしゃっていると理解した。

事務局：各委員で色々なご意見があると理解している。皆さまにも確認し、かなり多くのご意見をいただいた中でこの表現を採用しているため、できれば今回はこの内容で進めたいと事務局は考えている。今後、何かしらの課題が出た場合は、委員がご指摘の点も含めて改善を図るということではいかがか。

委員：確かに職場内のハラスメントについては回答が難しいところだと思う。今回のアンケートではこのように「人間関係等」に包含していただき、その内容には色々あるということで、実際の現場で状況を把握していただければ有難い。

委員：なお、問 10 の選択肢 4、5 の「利用者への～」 「家族への～」 の「への」が、その次の文言の「ハラスメント等」とつながって少しわかりにくいということだと思うので、これについては事務局で文言修正を図っていただきたい。

委員：①資料 1 - 1 の問 58 「本市で行っている介護予防や社会参加の取組を知っていますか。」 の回答に「現在、取り組んでいる」とあるが、「取り組んでいる」と表記すると、運営している側に捉えられがちだと思うので、「参加している」と変更した方がよいのではないかと。資料 1 - 2、1 - 3 にある同設問も同様に。②資料 1 - 2 の問 9 「初めて要介護認定を受けた時から、～」 とあるが、要支援の方を対象としたアン

ケート調査なので「要支援認定を受けた時から、～」の方が良いのではないか。③資料1-2の間10の選択肢1に「介護・介助の必要はない」とあるが、要支援の人は何らかの介助が必要だから認定を受けていると思うので、選択肢は2と3だけで良いのではないか。④問27は質問と回答の境目がわかりにくいので、網掛けをしてほしい。

事務局：①「取り組んでいる」がリーダー的な人の目線であるというご意見として理解した。これについて、「参加している」と文言修正を検討したい。②一般的には、要支援と認定されても要介護認定を受けているとおっしゃる方もいるため、この文言を採用しているが、確かに「要支援・要介護認定」の方がより丁寧でわかりやすいと思う。事務局として要介護者対象の調査票の文言と同じにしたいため、そのように整理したい。③確かに要支援・要介護認定を受けられているので何らかの介護・介助が必要である前提ではあるが、中には認定を受けても全く介護サービスを利用していない方もいらっしゃる。回答者の主観で介護・介助の必要があるかどうかを尋ねる調査項目のため、これは必要と考える。また、認定時には介護・介助が必要であったが、その後、状態回復し、アンケート調査実施時には介護・介助が必要ない方も中にはいらっしゃる想定した設定にしている。④境目がわかりにくいので、修正する。

委員：資料1-1の2ページの一番上「個人情報の取り扱いについて」の一行目に「個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです～」とあるが、活用目的の記載が不足していると考えます。資料1-1だけでなく、他にも同様の書きぶりになっているところがあるので、併せて検討願いたい。

委員：活用目的を示すことは非常に重要なので、ご指摘のとおりだと思います。事務局には文言追加の検討をお願いしたい。

事務局：承知した。調査を実施する際に郵送で尼崎市長名の入った調査の趣旨とお願い文を同封する。そちらに記載するか、調査票自体の文言を修正するかについては、また検討したい。

委員：前回の分科会から個別で委員の皆さまにお聞きしているのですが、本日一覽でご覧いただいた資料は皆さまの意見を反映したものとなっている認識であるが、本日はzoom開催のため、なかなか発言しにくかった委員もおられるかもしれない。本日、改めて事務局の意見を聞いてお気づきになった点がある方も含めて、この分科会終了後一週間程度、皆さまからご意見を募りたいと思うが、事務局いかがか。

事務局：一週間程度、皆さまからご意見を募りたいと考えている。メールをお受けさせていただくが、会ってお話しする必要があるればお伺いする。また、先ほど、介護人材のウェブレイアウトをお示しすることを忘れていたので、それだけご覧いただきたい。

- ・事務局より、介護人材に関するアンケート調査回答のウェブレイアウト(案)の提示

委員：先ほど申し上げたように、一週間程度時間を置くので、本日言えなかったこと、あるいは後から思いついたことでも結構なので、ご意見をお願いしたい。本日と後日いただくご意見を踏まえて、会長と事務局にアンケート調査票確定に向けた作業を一任いただきたい。その後のアンケート調査実施への流れに向けても、その方が良いと考えている。現時点では、調査実施は1月の予定と聞いている。会長と事務局で実施に向けて作業を進めたいと考えているので、ご了承いただきたい。事務局には、本日欠席委員にもこの旨、お伝え願いたい。

(2) 令和8年度向け新規・拡充事業について

- ・事務局より、資料2の説明。

(質疑)

委員：移転・建て替えをすることのことで、名称の検討もしていただきたいと思う。老人福祉法上は「老人福祉センター」だが、例えば今の時代だと「高齢者福祉センター」にするなど、日程的にもまだ余裕があると思うので、名称変更も併せて検討していただければと思う。

事務局：名称については、庁内でも協議中ではあるが、委員の皆さまからご提案があれば、お声がけいただきたい。供用開始までにはまだ時間があり、実際は、条例改正を経て供用に向かうので、令和12年度より少し前の段階で決めていく必要はあるが、老人福祉法に基づく老人福祉センターという縛りを外し、もう少し守備範囲が広い施設になればと考えている。それと併せて、名称についても検討していきたい。

委員：高齢者が利用するということが、交通手段はあるのか、便利な場所にあるのか教えてほしい。

事務局：今現在、総合老人福祉センターに通われている方のほとんどが自転車か徒歩になる。新しい施設も同様に、自転車か徒歩がメインになると考えている。敷地の関係も含めて、今のところ自動車で来られることは想定していない。基本的には、公共交通機関もしくは自転車、徒歩でのご来館をお願いしたいと考えている。

委員：公共交通機関となればバスとなると思うが、近くにバス停はあるのか。

事務局：徒歩圏内にバス停があるので、バスでのご来館も可能と考えている。

委員：それでは、本日の議題についてはこれですべて終了となる。他にご意見がなければ、最後に事務局から一言お願いしたい。

事務局：今年度においては専門分科会を3回開催した。従来は計画策定のための部会を設置してそれに係る内容を審議してきたが、今回は試験的に部会を設置せず、本専門分科会にてそのまま策定に係る審議をしてい

ただいた。皆さまの多大なるご協力のもと、有意義な審議の場となり、アンケート調査をここまで形にすることができたと考えている。アンケート調査も想定スケジュールどおりに実施できる予定であり、改めて感謝申し上げます。来年度、アンケート調査実施後は、計画策定の協議となる。また皆さまのお力をお借りする機会が多々出てくると思うので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

3 閉会

以 上